

閲覧制限機能の拡張

Ver.8.001より

- ・従来の物件単位での閲覧制限に加え、文書カテゴリーごとの閲覧制限機能を新設しました
- ・セキュアSAMBA(クラウドストレージ)のアクセス制限機能と合わせて様々なケースに対応できます

物件別

○開示 ×非開示

物件名	ユーザー①	ユーザー②
物件A	○	○
物件B	○	○
物件C	×	○
物件D	×	○

【新設】文書カテゴリー別

○開示 ×非開示

文書カテゴリー	ユーザー③	ユーザー④
測量図・登記	○	○
確認申請・工事関係	○	○
契約書類	×	○
テナント関係書類	×	○

担当物件データのみを開示したい場合などに有効

(ユーザー単位、所属グループ単位)

例) オフィス物件担当者にはレジ物件データを開示しない

※ ver.7と同様な機能です。

※ 設定方法の詳細は取扱説明書P.51, 52をご参照ください。

※ 基本設定画面の「閲覧制限機能 (物件別)」をONに設定する必要があります。

特定カテゴリーの書類を非開示にしたい場合に有効

(ユーザー単位)

例) ER会社には契約書類やテナント関係書類を開示しない

※ 文書カテゴリーは大分類と中分類の組み合わせで区別します。

※ 設定方法の詳細は取扱説明書P.53をご参照ください。

※ 基本設定画面の「閲覧制限機能 (分類カテゴリー別)」をONに設定する必要があります。



- 目的や状況に合わせてきめ細かな閲覧制限ができます
- 協力会社とのデータ共有時に機密情報保護が可能です